

工事経歴書

（建設工事の種類）

工事（税込・税抜）

該当するものを○で囲む

○経審受審する業種を記載すること。
 ○実績がある業種は、業種ごとに作成する。
 ○実績がない業種については、1枚にまとめることが可能（例：（建）・（と）・（大）など）

注文者	元請 又は 下請 の別	JV の 別	工事名	工事現場のあ 都道府県及び 市区町村名	氏名	主任技術者又は監理技術者 の別（該当箇所にレ印を記載） 主任技術者 監理技術者	うち、 〔 ・PC ・法面処理 ・鋼橋上部 〕	着工年月	完成又は 完成予定年月
沖縄県	元請	JV	A工場建設工事	那覇市	泉崎 一郎	主任技術者	4,00 千円	令和 2年 1月	令和 2年 2月
							千円	令和 年 月	令和 年 月
							千円	令和 年 月	令和 年 月
							千円	令和 年 月	令和 年 月

注文者及び工事名については、個人の氏名が特定されないよう留意すること。
 工事名については、当該業種工事と明確にわかるよう括弧書き等で記すこと。

各工事現場に置かれた配置技術者について、該当する箇所にレ印を記入

<経営事項審査を申請する場合>

- ①業種ごとに最低10件（元請・下請合計）まで記載する。（元請に係る完成工事高及び全ての完成工事高が7割に満たない場合は7割を満たすまで記載する。）
- ②元請工事について、元請け工事に係る完成工事高の合計の7割を超えるところまで請負金額の大きい順に記載し、残りは「その他工事」として金額を記載する。
- ③②に続けて、下請工事に係る完成工事について、全ての完成工事高の7割を超えるところまで、請負代金の大きい順に記載し、残りは「その他工事」として記載する。
- ④③に続けて、主な未成工事について、請負金額の大きい順に記載する。
- ⑤完工高が大きい上位3件の工事について、1, 2, 3と番号を付する。
- ⑥受審する業種で実績がない場合は「実績なし」と記入する。

<経営事項審査を申請しない場合>

- 主な完成工事（10件程度）について、請負代金の大きい順に記入
- 続けて未成工事について、請負代金の大きい順に記入
- 実績がない場合は、「実績なし」と記入

「小計」「合計」のうち、元請工事に係る請負工事金額を記入

ページ毎に記載した工事の件数及び完工高の額の合計を記入

業種ごとの最終ページにおいて、全ての完成工事の件数及び請負金額の合計を記入

小計	1 件	4,000 千円	千円	うち 元請工事 4,000 千円	千円
合計	1 件	4,000 千円	千円	うち 元請工事 4,000 千円	千円